

据え付け時のお願い (据付説明書)

据え付ける前に…

設置場所の確認……………1-1

参照項目

！振動！ 設置場所の床強度が不足したり凹凸などの床に設置されると振動が大きくなります。



排水口の清掃……………1-2

！エラー！ 排水口に、ごみがたまっていると水があふれたり、水の流れが悪くなりエラーの原因になります。

排水ホースの処置……………1-3

！水もれ！ 排水口が製品下にある場合に、内部ホースを直接排水口に入れますと中でこすれ、ホースに穴があき水もれ等の原因となります。

据え付けの手順

※裏面にあります

水平に設置……………2-1

参照項目

！振動！ 脚調整や脚ナットの締め付けが不十分だと振動が大きくなります。



排水ホース先端の処置……………2-2

！エラー！ 排水ホースのよじれや、余った部分の山なりなどがあると排水不良となり運転途中で止まったりすることがあります。



給水ホースの取り付け……………2-3

！水もれ！ 給水口ナットの締め付けが不十分、又は斜め締めだと水もれの原因となります。



アース線の取り付け……………2-4



チェックシートにて確認……………3-1

！確認！ 必ず試運転を行って確認してください。

1. 据え付ける前に

警告

浴室や風雨にさらされる場所には設置しない
感電や漏電による火災の原因となります。

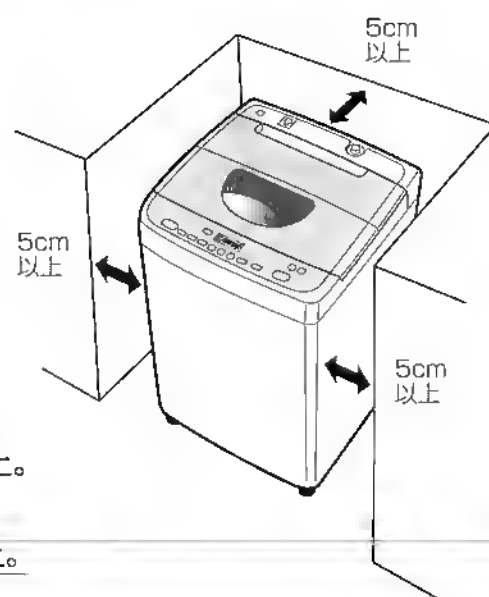


水場での使用禁止

1-1. 設置場所の確認

■据え付けに必要な寸法を確認する。

- 本体は前面や上面を開放(50cm以上)して、背面や左右を壁から下図の寸法以上離します。壁面とのすき間が狭くなると壁との接触による異常音の原因となります。
- 排水ホースを通す部分は必要な寸法(約10cm)を離してください。異常な振動や音を防ぐためです。



壁との間をあける。
左右、背面：5cm以上。

ただし、排水ホース
を出す方は10cm以上。

- 水栓から5cm以上離してください。

冬期、凍結する恐れがある場所はさけます。

直射日光のあたる場所はさけます。

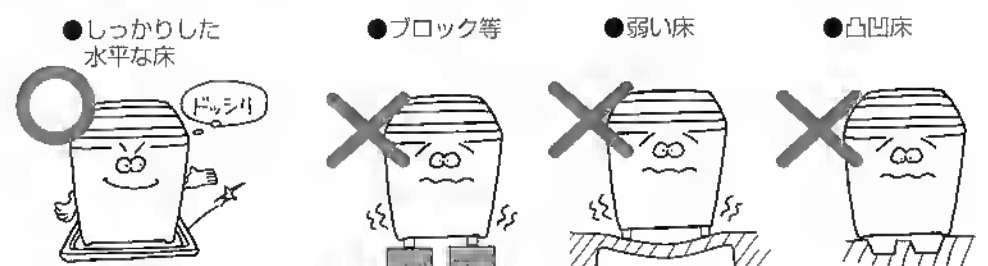
- プラスチック部品の色や形が変わることがあります。

しっかりした水平な床に据え付けます。

- ブロックや角材・レンガの上など不安定な所には据え付けしないでください。

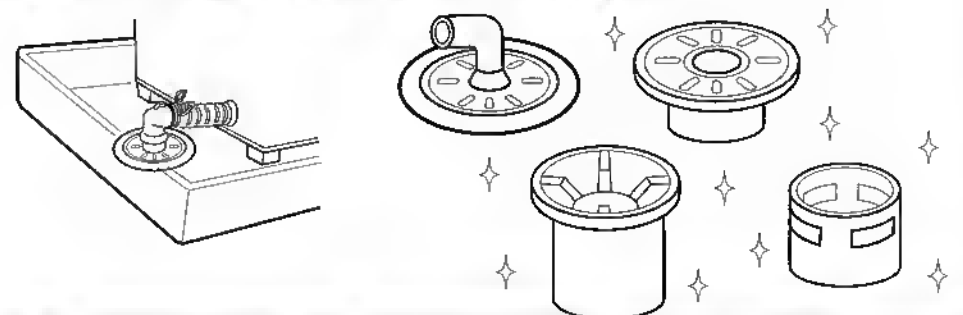
ベランダや弱い床、またはタイルなどすべりやすい場所はさけます。

- 振動や騒音が大きくなったり、途中で止まる原因になります。



1-2. 排水口の清掃

排水口の位置の確認と排水口の清掃をしてください。



排水口には糸くずや汚れがたまりやすいものです。
放置しておくと排水のエラーや悪臭の原因になります。
洗濯機を据え付ける前に排水口の清掃をしてください。

正しく設置しないと異常音や途中止まりの原因になります。

据え付け後も住居移転するときなどに、この据え付シートが必要です。必ず取扱説明書と共に大切に保存してください。

1-3.排水ホースの処置

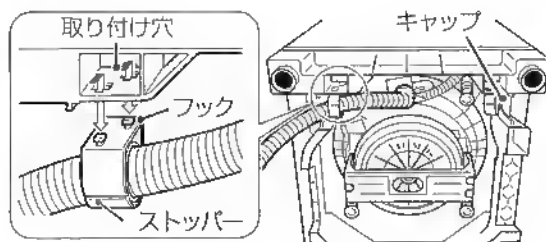
- 排水ホースの処置が正しくないと、水もれしたり排水に時間がかかったり、エラー表示して止まる原因になります。
- けがを防ぐために作業は必ず手袋を付けて行ってください。

1.排水ホースを排水口の位置に合わせてください。

■排水ホースの付け換え

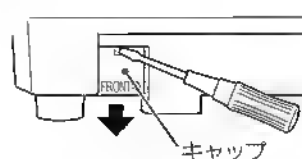
工場出荷時は排水ホースは向かって右側にセットされています。左側の場合は下記手順で付け換えてください。

①本体の前面が下になるようにダンボールなどの上に倒す



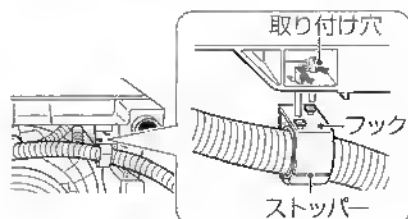
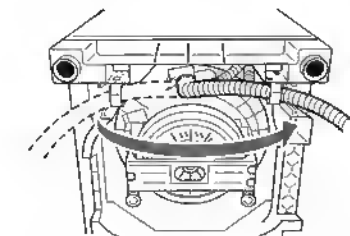
②ストッパーを奥側(洗濯機上方側)へ押し上げ、台板からはずし、ホースをはずす

③本体左側のキャップをマイナスドライバーなどではずす

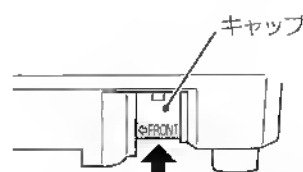


④ホースを洗濯機左側にし、ストッパーを台板の取付け穴にはめ込み、手前に引きフックに引っかける

※フックが取付け穴に2ヶ所かかっていることを確認する



⑤右側にキャップをはめ込みます



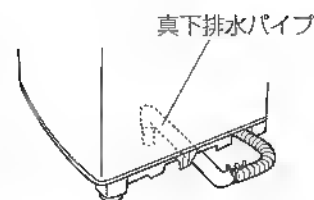
⑥付け換え後に必ず試運転を行い、水もれや異常音が発生しないか確認する
●ストッパーをホースからはずしたり位置を変えないでください。水漏れや異常音の原因となります。

2.洗濯機の下に排水口がくる場合

必ず別売の真下排水パイプ THP-2(0.2m) THP-3(0.4m) をご使用ください。

真下排水パイプは台板側面の切り欠き部(凹部)または、後部から使用してください。前部からは取り付けできません。

真下排水パイプが台板に当たっていると異常音が発生します。真下排水パイプを使用しないと、ホースに穴があき水もれになります。



1-4.水道の汚れ、異物を取り除いてください。

初めてご使用になる水道の場合は水道より異物、濁った水が出る場合があります。据え付ける前に必ず水を流し、水道の汚れ異物を取り除いてください。そのまま使うと給水異常になる恐れがあります。

1-5.防水パンがなく木床などに直接据え付けする場合

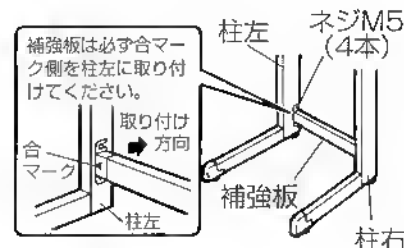
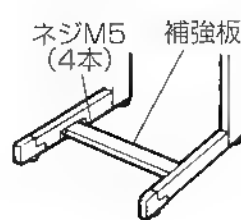
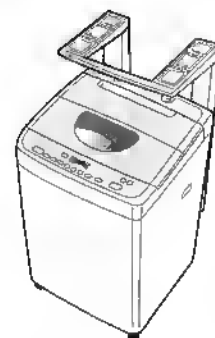
夏期など湿度の高いとき、冷水などの使用による洗濯時や、冬期など室温の低いときに、洗濯機の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。別売の洗濯機トレイ (TZ-10) の設置をおすすめします。

1-6.ドライヤースタンドがある場合

洗濯機に合わせてスタンドの幅や高さを調整します。幅に合わせて締付け位置を調整します。詳しくは、スタンドの取扱説明書を参照してください。

●直付け式のドライヤースタンドを使用するときは、必ず付属の鎖を取り付けて転倒防止をしてください。

ドライヤースタンドDS-72、58、57、56、55のいずれかを使用のときは補強板を後側に取り付け直してください。



※DS-58、57、56、55使用の場合、洗濯機はスタンドの柱の内側には入りません。補強板を後側に取り付けられないドライヤースタンドをご使用の場合は、洗濯機台板の側面の切り欠き部(凹部)に補強板がくるように洗濯機を設置してください。

2. 据え付けの手順

⚠注意

洗濯機底面から手を押し込まない

けがをする恐れがあります。別売の脚キャップなどの取り付けは、指定の方法で行ってください。

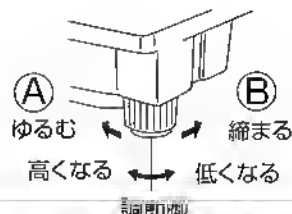


2-1.水平に設置

脚の調節は、本体上部を支えながら、行ってください。本体底部は持たないでください。

1.ガタつかないよう脚を調節します。

※一度脚ナットをA側に回してゆるめる。調節ゴムを回し、ガタを調節後脚ナットをB側に回してしっかり締めてください。



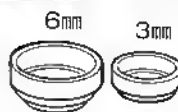
2.水準器の気泡で水平を確認します。

- 水準器にある4本の基準線の内、その内側が1本以上気泡の中に入っていれば、脚の調整は不要です。
- 水準器にある4本の基準線の内、その内側が1本以上気泡の中に入っていない場合は、別売の脚キャップで高さを調整してください。
- 脚キャップは、本体の脚に下からはめ込んで取り付けます。調整用脚には取り付けできません。



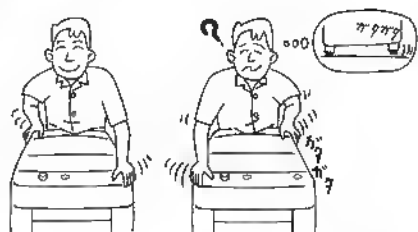
3.水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に別売の脚キャップを取付ける。(調節脚も合わせて調節します)

(別売部品)
(部品コード番号 42006207) 各2個



4.洗濯機の対角を押えガタつきがないか また、台板が床に当たっていないか確認してください。

- ガタつきがあったり、台板の前部が床に当たっていると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。ガタつきがある場合は、再調整してください。



● 脚キャップ
○ 調節脚

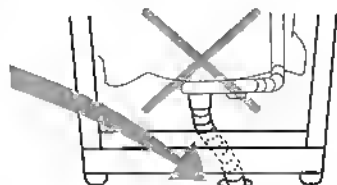
水準器の状態	洗濯機の状態	調整のしかた
	右側に傾斜	・右側後部の脚に、脚キャップを取り付けます。 ・右側の調整脚を調整して、高くします。
	左側に傾斜	・左側前後部の脚に、脚キャップを取り付けます。
	後ろ側に傾斜	・後部(左右)2箇所の脚に、脚キャップを取り付けます。
	前側に傾斜	・右側の調整脚を高くします。 ・左側前部に脚キャップを取り付けます。

2-2.排水ホース先端の処置

排水ホースの処置が正しくないと、水もれしたり、排水に時間がかかったり途中止まりの原因になります。

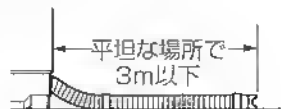
お願い

製品内部から排水ホースを直接排水口に入れると、穴あきによる水もれや異常音の原因になります。このような処理は絶対しないでください。

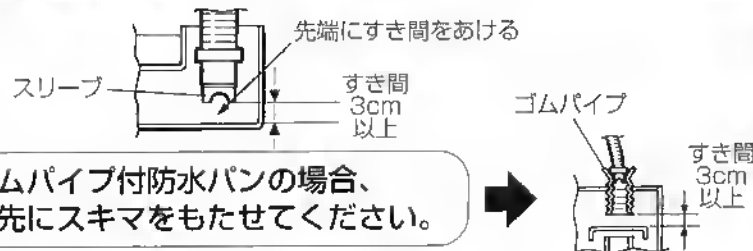


1.排水ホースを延長したい場合

- 排水ホースは平坦な場所で3mまで延長することができます。
- 別売の排水延長ホース(部品コード42040679)をお求めください。
- ホースは水が流れやすいようにしてください。

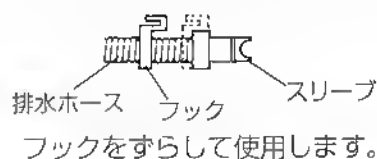


2.排水ホース先端を家庭の排水口に差込みホースの先にすき間を持たせます。

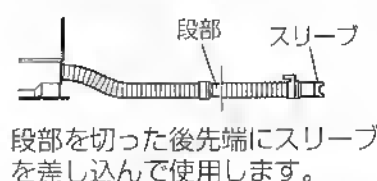


図のようなゴムパイプ付防水パンの場合、ゴムパイプの先にスキマをもたせてください。

1.フックがじゃまになるときは



2.排水ホースが長いときは



2-3.給水ホースの取り付け

確実に取り付けないと水もれの原因になります。

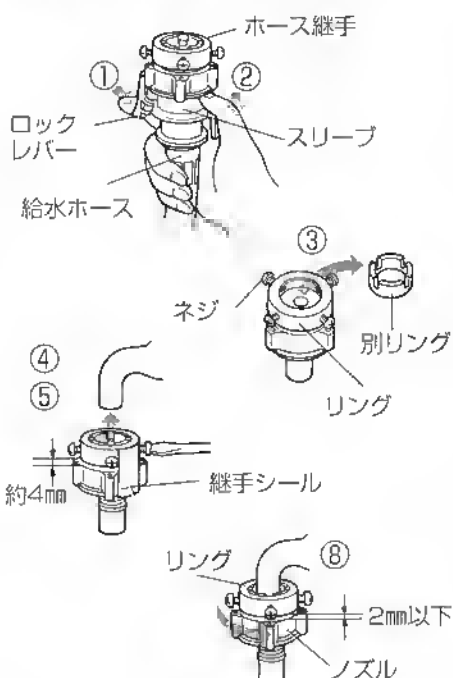
※ワンタッチ給水栓ジョイントがすでに水栓に取り付けられている場合は、必ず別売の「給水栓ジョイント」(CB-J6)に交換してください。交換しないと給水ホースがはずれて思わぬ被害を招くことがあります。

※給湯設備には取り付けしないでください。

※取り付けが確実に出来なかったり、水もれが発生する場合は、お買い上げの販売店または、東芝家電修理相談センターにご相談ください。

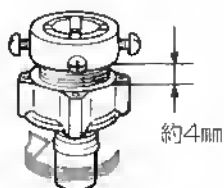
ホース継手の取り付け

- ①ロックレバーを押す。
- ②スリーブを引き下げてホース継手からはずします。
- ③蛇口が大きいときはネジをゆるめ、別リングをはずす。
- ④ネジ4本をゆるめ、蛇口に押し当てる。
- ⑤ノズルとリングのすき間が約4mmになっているか確認する。
- ⑥ネジ4本を均等に締めつける。
- ⑦継手シールをはがし、ノズルを回して締め付ける。
- ⑧すき間が2mm以下になっているか確認する。



- ノズルとリングのすき間が広いと水もれの恐れがあります。
- 使用中に水もれした場合は、さらに締め付けてください。
- ネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ホース継手を取り換えてください。

- 引っ越しなどで、再び継手を取り付ける場合は、ノズルとリングのすき間が、約4mmになるようにノズルをゆるめてから上記内容に従って取り付けてください。水もれを防ぐためです。



⚠注意

運転の前に水栓を開いて、給水ホースの接続部分の緩みや、水もれの

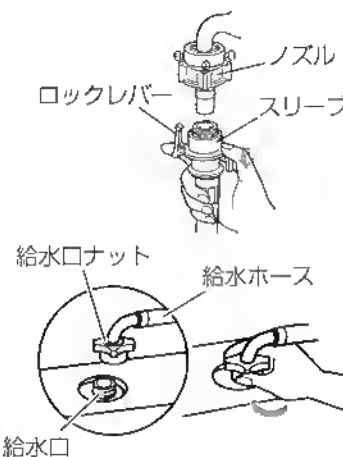
ないことを確認する
ねじやホース接続などの緩みがあると、水もれして思わぬ被害を招くことがあります。



水もれ確認

給水ホースのつなぎかた

- ①スリーブを引き下げたまま給水ホースを差し込みスリーブを離し、パチンと音がするまで押し上げる。
- ②ロックレバーがノズルにかかっていることと、ホースを下に引いても抜けないことを確認する。
- ③給水ホースの先についている給水口ナットを洗濯機本体の給水口にしっかり締め付ける。
- ④水栓を開き水もれがないか確認する。



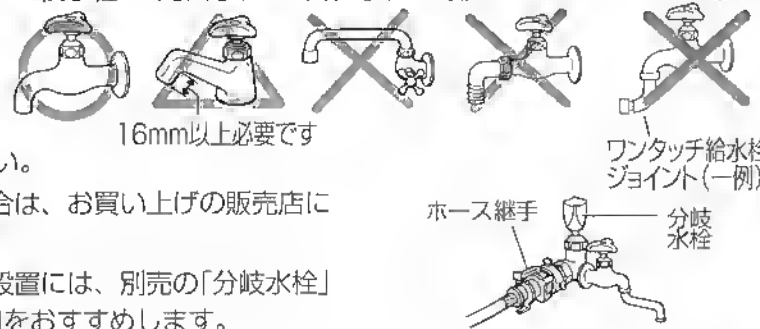
※給水口のナットの締め付け具合によっては水がにじみ出てくる場合がありますので充分確認してください。

- 一度水を通してからホースをはずすときは水が飛び散ります。取扱説明書のお手入れのしかたを参照してください。
- 給水ホースの延長については、取扱説明書の別売部品を参照してください。
- 自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ給水栓に取付けの場合は、別売の「給水栓ジョイント」(CB-J6)を使用してください。
- 緊急止水弁付洗濯機用水栓で、一部当社継手と合わないものがありますので確認してください。

水栓の形状

- 横水栓が適しています。
- 水栓は洗濯終了後、必ず締めてください。
- 水栓が合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」(JB-11)の利用をおすすめします。

横水栓 角口水栓 自在水栓 万能ホーム水栓 ワンタッチ給水栓



2-4.アース線の取り付け

感電防止のためにアース線を取り付けてください。

アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

アース端子がないときは

アース工事をしてください(費用は有料です)。アース工事は電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう法令で定められています。

アースの取り付けは、東芝家電ご相談センターにご相談ください。

⚠警告

アース線が取り付けられているか確認する
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店に相談してください。

アース線の接続を確認する

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを洗濯機単独で使う

電圧や定格が異なると火災・感電の原因となります。また、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントは専用で

電源プラグは根元まで差し込むこと。傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止

電源コードを傷めない

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、金属部にかかけたり重い物を載せたり、挟みこんだりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。

傷つけ禁止

●お願い 次のようなところには、アース線を接続しないでください。(法令等で定められています。) ●ガス管 ●電話線や避雷針 ●水道管

3. チェック項目

3-1.据え付け後は、必ず下記チェック項目を確認してください。

アース線

①アース線は取り付けられていますか? ☐ チェック

給水ホース、ふろ水ホース

②水栓側及び洗濯機側接続部に水もれはありませんか? ☐ チェック

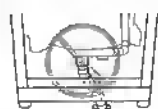
③濁った水が出ませんか? ☐ チェック

④ふろ水ポンプは正常に作動し、ふろ水ホースの水もれはありませんか? ☐ チェック

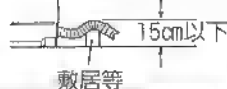
排水ホース

⑤排水口にゴミがたまっていますか? ☐ チェック
※排水口はご使用後も定期的にチェックしてください

⑥排水ホースを洗濯機の下に入れたり、よじれ、つぶれはありませんか? ☐ チェック



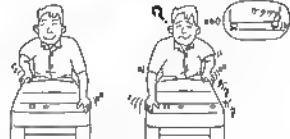
⑦排水ホースが15cm以上持ち上がっていませんか? ☐ チェック



敷居等

本体

⑧洗濯機の対角を押さえたときにガタついていませんか? ☐ チェック



⑨脚ナットはしっかり締まっていますか? ☐ チェック



⑩試運転で異常音や水もれはありませんか? ☐ チェック

①コード線やアース線が製品に接触していませんか。

②台板が床または、防水パンに当たっていませんか。

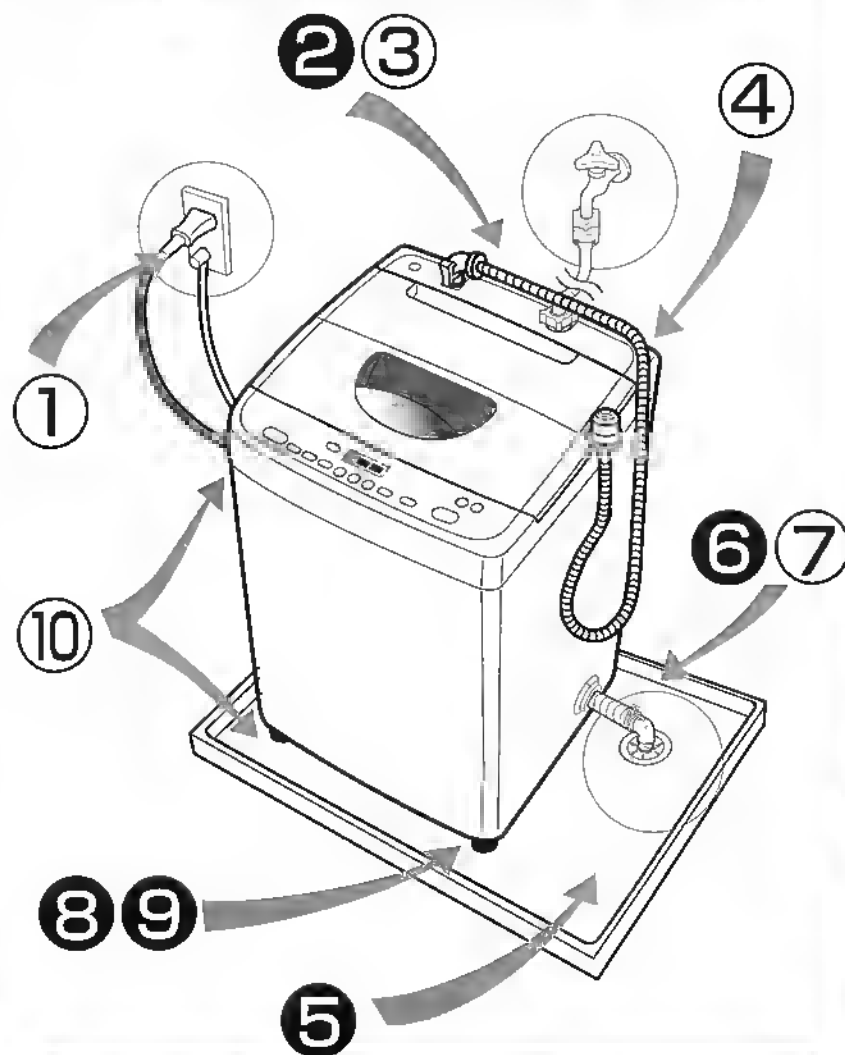
⚠注意

ふろ水用給水ホースを浴槽の水位面が洗濯機より高い位置で使わない

サイホン現象により、ポンプ運転が終わっても水が出続け、床を濡らして思わぬ被害を招くことがあります。

使用禁止

●印は電話でのお問い合わせが多い項目です。



正しく設置しないと異常振動・騒音や水漏れの原因になります。

据え付けの不具合によって発生した故障については責任を負いかねますので、ご了承ください

3-2据え付け時の運転確認について

1. 洗い運転の確認

●電源プラグを差し込み、電源「入」ボタンを押し、「スタート」キーを押します。

●パルセータが左右に回転し、洗剤量を表示します。(蓋閉時には残り時間を表示)

※電源ボタンを押したときに「コン」と音がしますが異常ではありません。

2. 脱水運転の確認

●蓋を閉めて電源「入」ボタン「脱水」ボタン「スタート」ボタンの順で押します。

※脱水がスタートする前に洗い→脱水へクラッチが切り換わるために小さく正回転し、「カチ」と動作音がします。

※脱水終了の段階でブレーキが動作し、その後洗濯・脱水槽が小さく正回転し、脱水→洗いのクラッチ切換動作をします。この時、「カチ」と動作音がします。

※コース運転では洗い→脱水、脱水→洗いのクラッチ切換動作は自動的に行います。